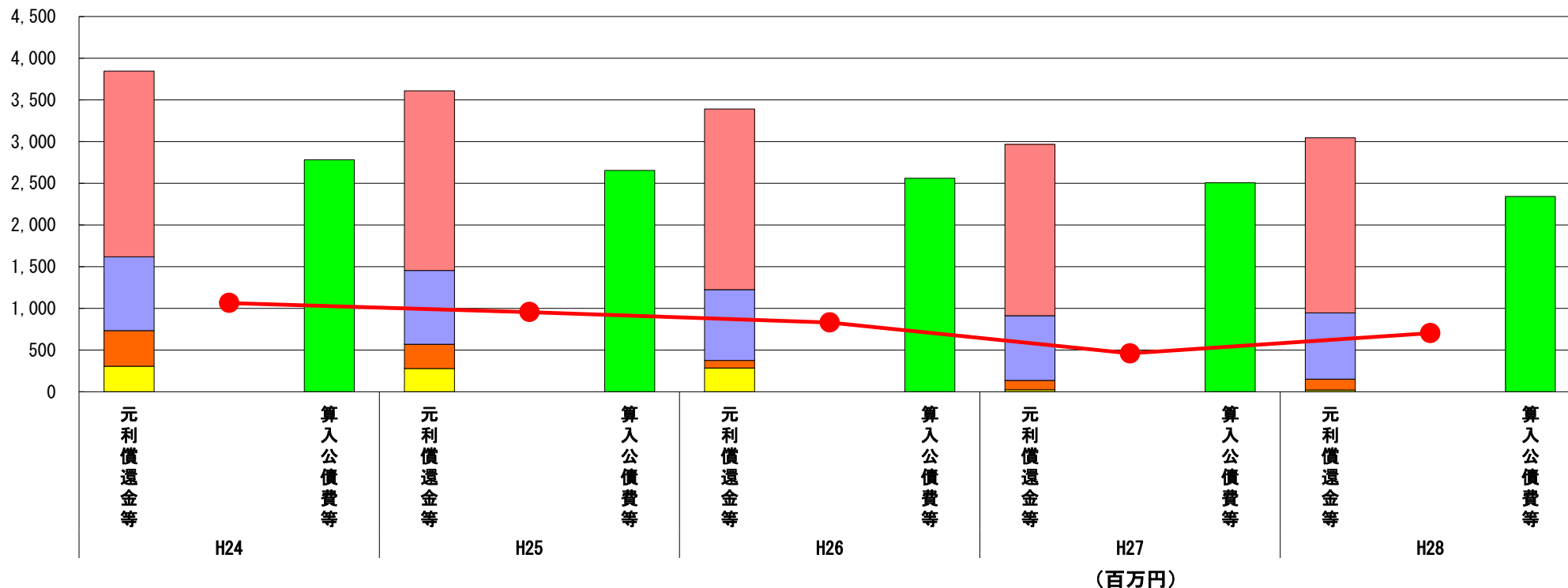


(9) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成28年度

岡山県笠岡市

（百万円）



分子の構造		年度	H24	H25	H26	H27	H28
元利償還金等 (A)	元利償還金		2,231	2,157	2,169	2,053	2,102
	減債基金積立不足算定額		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		883	884	847	776	793
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		428	292	91	113	129
	債務負担行為に基づく支出額		306	278	285	24	22
	一時借入金の利子		-	-	-	-	-
算入公債費等 (B)	算入公債費等		2,784	2,655	2,562	2,507	2,343
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		1,064	956	830	459	703

分析欄

・繰上償還額を控除した元利償還金の額は、近年の借入額の増が要因でH28から増加している。また、公営企業等の元利償還金に対する繰入金は下水道会計の償還額が増加傾向にあることが要因で増となっている。

・債務負担行為に基づく笠岡湾干拓事業負担金の支払いがH26年度で終了したことにより大幅に数値が改善している。

・今後の見込みとして、大規模ハード事業が続いていることや臨時財政対策債の元金償還が本格化することにより、元利償還金は増額傾向になると見込んでおり、引き続き債務の縮減等の財政健全化の取組を続けていく必要がある。

※平成29年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。